

Profile

おおきにアリーナ舞洲様

- 所在地: 大阪府大阪市此花区北港緑地2-2-15
- URL <https://www.human-arena.com/>

大阪エヴェッサの ホームアリーナとして。

大阪・舞洲スポーツアイランド内にある「おおきにアリーナ舞洲」様は、2016年に開幕のBリーグに所属するプロバスケットボールクラブ「大阪エヴェッサ」のホームアリーナとして運営されています。約6,000人を収容可能な2720 m²のメインアリーナと、920 m²のサブアリーナを有し、さまざまなスポーツや各種イベントの会場としても利用されています。



▲大阪エヴェッサのホームアリーナとして運営されており、約6,000人を収容可能。



華麗な演出を可能にし、スポーツ観戦をさらなるエンターテインメントに

導入の経緯

演出の核にプロジェクションマッピングを

大阪エヴェッサを運営するヒューマンプランニング株式会社様は2016年9月のBリーグ開幕へ向けて、ホームアリーナでの主催試合の演出に、海外からも注目される“teamLab”と“大阪エヴェッサ×チームラボ4Dステージ”を実施。その映像演出の核となるプロジェクションマッピングを実現するためのプロジェクターを、新たに導入することを決められました。選定にあたり、

- 最高レベルの輝度・解像度であること
 - 設置環境に適った軽量・コンパクトなものであること
 - 使用当日の不具合にも対応できるサポート体制を備えていること
- などの条件から、リオ2016オリンピック・パラリンピックでも採用実績があり、国内トップアーティストのステージ演出でも使用されている弊社3チップDLP®方式プロジェクターPT-DZ21K2Jをテストされ、ご採用いただきました。



▲オープニングイベントとして、コートへのプロジェクションマッピングを実施。映像と光、音響効果によってアリーナ全体が興奮に包まれる



▲取材当日の大阪エヴェッサホームゲームでは、約6,200人の観客が試合に酔いしれていた。この規模のアリーナをプロバスケットボールクラブが持つのは、おそらく国内史上初であり、チームの練習にも使用されるメインコートの上にプロジェクターは常設されている

◀選手の入場シーン。プロジェクションマッピング、大型LEDビジョン、ムービングライト、サウンドシステムが連動した演出に、会場の興奮は一気に最高潮へ!



◀ハーフタイムに行われる、幻想的なLEDデジタルハーフタイムパフォーマンス「光の華」。その際もコートへのプロジェクションマッピングによる映像演出が効果的に使われている

クラブおよびアリーナを運営されるヒューマンプランニング株式会社大阪エヴェッサ エグゼクティブオフィサーの磯村様は「お客様からは驚き、楽しめましたという声をいただいております。また、大阪エヴェッサの選手たちにとっても他のチームにない方法で盛り上げてもらえることがとても励みになっているようです」さらに「これまでにも、種目を問わず、いくつものスポーツ界の方々から噂を聞いて見学に来られていますが、皆さん羨ましいとおっしゃいます」と、プロジェクションマッピング導入の手応えを感じられています。



▲開場からエンディングまで一貫した総合演出で、Bリーグも提唱する「エンターテインメント性の追求」に取り組んでいる

